

株式会社Link-U

フロントエンジニア

浅野 勇大さん

～和歌山での「働
き」∞「暮らす」～
ライフスタイル

▶ いつ頃から就活をはじめましたか？

大学3年の9月ごろからインターネットの就活サービスを使い始め、50社ぐらいの方とオンライン面談をさせてもらいました。

▶ なぜ和歌山を選んだのですか？

大学が和歌山で、そもそも大学に貼っていた募集用紙が今の会社を知るきっかけでした。副業で塾講師もしていて、それは続けたかったのもあり和歌山が立地的にもちょうど良かったですし、立ち上げメンバーになれるという魅力もありました。

▶ 職場の雰囲気はどんな感じですか？

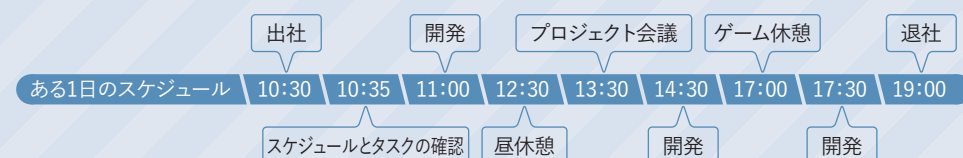
12時～17時がコアタイムで、時間に縛られていないのが特徴。大学の同じ研究室から3人入っていることもあり、大学を卒業したというより新しい学校に入ったような感覚で楽しんでいます。開発がうまくいかない時もしんどさを共有できる仲間がいるのはありがたいです。

▶ 和歌山で働いてみて感じたことは？

高校で満員電車で懲りたので、駅近のオフィスの近くに住めるというのが有難い。都会だとなかなかそうはいきませんよね。

▶ これから就活をはじめめる後輩たちへ

大雑把にでもどういう大人になりたいか考えること、絶対にやりたくないことをリスト化することで会社選びをしてきました。おかげで就活を通して「やりたいこと」を自分の言葉でしゃべれるようになりました。自分を知るためにも壁打ちみたいな感覚でたくさんの人と話しておくといいと思います。



Working

開発した漫画アプリがTwitterのトレンドに入った時には感動しました。世間に影響を与えるものを作っているのを自覚する瞬間でしたね。



Living

コアタイムが過ぎるとゲーム休憩。社内の大きなスクリーンで対戦するのが楽しい！またオフィスで植物を育てるのも流行中です。

ライオンケミカル株式会社

生産本部品質管理グループ

磯崎 郁良さん

～和歌山での「働
き」∞「暮らす」～
ライフスタイル

▶ どのように就活を進めましたか？

結婚を機に妻の実家のある和歌山に引っ越してきました。転職エージェントとナビサイトを使って和歌山の会社を調べ、これまでのスキルを活かせる化学系メーカーで探してこちらに辿り着きました。

▶ 就活のときに役立ったこと、苦労したことは？

コロナ禍で求人数が減っていたことが痛手でした。また緊張しやすい性分なので緊張対策は諦めて、質問を想定して臨みました。おかげで想定外の質問以外は喋れましたし、前職で学んできたことや頑張ってきたことはしっかりとアピールできたと思います。

▶ 和歌山の印象は？

来る前は正直なところ関心は薄かったのですが、来てみて過ごしやすい場所だと思いました。自然が豊かで食べ物おいしい。それに人が温かい。気さくな人が多いので、まちなかで見ず知らずの人に突然声をかけられて車を褒められたりしたのには驚きました。

▶ 和歌山で働いてみて感じたことは？

最初は言葉がよくわからず、現場からのトラブルの電話が聞き取れなくて苦労しましたが、今はずいぶん慣れてきました。現場を巡回していると、最近は名前を覚えて相談してもらえるようになったので嬉しいです。

▶ 今の目標は？

作っている商品が多いので、まだまだ知らないことがたくさんある。まずは任されている品質管理の業務でスキルアップを目指したいですね。



Working

午前と午後の2回現場を巡回して資材や仕様に問題がないかをチェック。若手が多いこともあり和やかな雰囲気の特徴です。



Living

6月に子供が生まれ、育児の真っ最中です。妻と協力しながら、仕事との両立もうまくできていて、毎日その笑顔に癒されています。

